



Rotary
Club of Inuyama



■会長：稲垣 圭次
■幹事：小川 誠
■公共サービス向上副委員長：大原 隆一

事務所／〒484-0061 犬山市大字前原字橋爪山 1-4 犬山カンツリー倶楽部内
電話／0568-61-5219 F A X／0568-61-5523
U R L／http://www.inuyama-rc.org/ e-mail／info@inuyama-rc.org
例会会場／〒484-0061 犬山市大字前原字橋爪山 1-4 犬山カンツリー倶楽部
電話／0568-61.2281 毎週火曜日／12：30～13：30

第2943回 例会 (R6. 1. 30 火 晴れ※)

【 職場例会 (於：日本紙工業㈱) 】

点 鐘 稲垣 圭次会長

R . S それでこそロータリー 四つのテスト

幹事報告 小川 誠幹事

下記クラブは法定休日又は定款による休業
又はクラブ都合により (メーカー受付なし) です

クラブ名	例会日 (曜)	クラブ名	例会日 (曜)
犬 山	2月13日(火)	瀬 戸	2月14日(水)
瀬 戸 北	2月13日(火)	小 牧	2月14日(水)
岩 倉	2月13日(火)	江 南	2月15日(木)
愛知長久手	2月13日(火)	尾 張 旭	2月16日(金)

下記クラブは例会変更です

クラブ名	例会日 (曜)	場所 (変更理由)
可 児	2月8日(木) →2月11日(日)	(鳩吹山登山道清掃作業)
名古屋大須	2月15日(木) →2月14日(水)	(西名古屋分区 I.M.)

☆第14回理事会&第4回クラブアッセンブリーのご案内

日時：1月30日(火) 18：00～

場所：大 安

* 送迎バスご利用の方は犬山駅東口 17：30 出発

出席報告 (兒玉 寿委員長)

出席率 77.27%

会員 48 名 出席 34 名 欠席 14 名

欠席者 伊藤正久君 岩沢修之君 松井隆幸君
 篠島弘賢君 中村大輔君 大原隆一君
 澤田禅君 鈴木敏之君 鈴木一成君
 梅田佳和君

前例会の修正(1/23分)

福富孝弘君(7/13 出前授業)澤田禅君(11/12 地区大会)

千田光範君(11/2 出前授業)鈴木敏之君(11/8 出前授業)

梅田佳和君(11/2 出前授業)

以上 83.72%を 95.35%に修正

ニコボックス (兒玉 寿委員長)

稲垣圭次君 本日の職場例会、ご準備いただきありがとうございます。

高橋社長の卓話、楽しみにしております。

(同文にて) 福富孝弘君 小川誠君 大島匡博君

高橋秀治君 本日は弊事業所へご訪問下さり、誠にありがとうございます。宜しくお願い申し上げます。

安達寛益君 本日は高橋さん始め日本紙工業㈱の皆様
に大変お世話になります。どうぞ宜しくお願いいたします。

(同文にて) 藤井友喜君 原正男君 日比野良太郎君

保浦博志君 井川光雄君 板津英基君

伊藤隆君 岩間信夫君 加藤浩一君

兒玉寿君 近藤俊也君 眞野健二君

松平實胤君 丹羽敬昇君 野村憲治君

小川宏嗣君 小川征一君 岡田雅隆君

奥村正幸君 下平征司君 朱宮新治君

谷定貴之君 宇佐美芳樹君 山根雄司君

安田一生君 安田新平君 吉田洋君



会長挨拶 (稲垣 圭次会長)



皆さん、こんにちは。

本日は久しぶりの職場例会を会員であります高橋君
の日本紙工業さんで行えることを大変嬉しく思います。
駐車場の案内、そして今日までの準備、この後の卓話
を大変お世話になりますが、宜しくお願い致します。

昨日、ついこの前まで会員であられました大縣神社
名誉宮司の牧野さんの感謝と祝賀の会にクラブの代表
として参加して参りました。神社関係者を始め、地元
企業の方々、大勢の参加者のもと、盛大に開催されま
した。

改めて、愛知県神社庁長も務められました牧野さん
の偉大さ、そして優しいお人柄に感銘いたしました。

続きましては新しく宮司になられました日比野宮司
さんには歴代宮司には犬山ロータリークラブに入会さ
れていたことをお伝えし、会員拡大に努めたいと思

したが、ニュースを見てこりゃいかんということで身構えておりましたら、経産省から3時間後ぐらいに電話が入りすぐにダンボールベッドの準備をしてほしいという依頼がありました。ダンボール業界っていうのは、全国に4分割されて存在します。東日本段ボール工業組合、中日本段ボール工業組合、西日本段ボール工業組合、南日本段ボール工業組合、この4つが連合体を組んで全国段ボール工業組合連合会と言います。私、その中日本の理事長を務めております。中日本のテリトリーは北陸3県合せて、愛知、岐阜、三重までが私の管轄となります。従いまして、正に能登半島は、私の管轄となります。責任がありますので、連絡に対して即座に元日から行動を始めました。ある程度の在庫はありましたが、とてもそれだけでは足りないということで、各組員同業者に連絡を入れて在庫数の把握、そして何日から機械を稼働できるのかを一覧表にして内閣府にお届けするという仕事でありました。幸いにも我が業界の皆さんは、お正月の休み中にも関わらず、皆さんは待っていましたということで電話を受けていただいて、本当に早い対応ができたこと、我が業界なかなかやるなと思いました。ダンボールベッドはこんなにしっかりしているんだということ、よかったです後で触っていただけたらと思います。中に加工がしてあり普通の箱ではないですけど、一応使用上の注意としましては点荷重に弱い事と、それから水分はこぼされないように、そこだけは弱いので宜しくお願いします。大学の寮で実験をしてもらった結果、4年間使っていただいて全く支障なく使用できました。卒業するときには、下の箱に荷物を詰めて引っ越しをされたということで、4年間使っても全く問題ございません。ただし、使用上の注意だけは守っていただきたいと思います。

弊社の沿革でございます。

弊社の成り立ち、私の曾祖父は林重助と申します。犬山に引っ越す前は日本紙工株式会社、現在の弊社とは別の会社で本家になります。日本紙工株式会社の名古屋工場がございまして、高橋次雄さん、私のおじいさんが工場長として務めておりました。そもそも高橋次雄さんは、大正時代に群馬の田舎から柔道講道館で柔道をやっております、その関係で東京の法政大学に通っておりました。その時期に関東大震災が起きましたして学校へ行けないということで暇を持て余していたので、たまたま林重助さんが営んでいた東京工場にアルバイトで働くことになりました。

そこで、高橋次雄さんは、林重助さんに見初められて3姉妹うちの一人をお前にやる、会社を告げと言われたそうでございます。ところが、柔道やるぐらいの男である講道館の高橋次雄は、私は自分の名前を高橋から林にするのはまっぴらごめんだという話をしたら、分かった、では次女をもらえということで、3姉妹の次女の喜九枝さん(私の祖母)を嫁にもらって、ほどなく結婚をしまして、ゆくゆく名古屋工場の工場長として収まることになりました。この林重助さんは、元々は村井兄弟商会の番頭をしておりまして、いわゆるタバコ王と言われた村井さんはこの人の会社の従妹で

すから大番頭をずっとしておりました。番頭していた時にパリ万博(ちょうどエッフェル塔ができた時)にタバコを出品しました。船で行って出品して、当時は万博というのは工業製品のオリンピックと言われておりました、そこで金賞をいただいたのがこのタバコでございます。

後々、このタバコが有名になってアメリカにどんどん輸出するようになり財をなしたと聞いております。村井兄弟商会在が両切りタバコというのは当時初めて作られたもので、それまではキセルでタバコを吸っていましたがライスペーパーで巻いた両切りタバコが非常によく売れたわけです。当時はフィルターなんてございません。このタバコがやたら売れるので、明治政府に取り上げられました。ちょうど日露戦争の時でありました。日露戦争の時に、「おい、その商売、国によこせ」ということで専売公社という形で権利をはく奪されてしまい仕事が全部無くなってしまいます。東郷元帥がロシアに勝てたのはこの出来事が大きく貢献していると勝手に信じております。代わりに補償金として当時では莫大なお金をいただいたそうです。その資金で銀行でもやるかということで村井銀行を起こしました。数年経ったところで、林重助さんは面白くなくなり、やっぱり製造業をやりタバコに関わりたいたいということで起こした会社が日の出組と申します。建物は残念ながら10数年前に取り壊されてもったいない話ですが、もう今ではもう見ることはできません。



皆さん、長楽館をご存じでしょうか。京都の八坂神社のすぐそばに、今ではホテル、レストラン、カフェ等でまだ残っております。この長楽館と名付けたのが伊藤博文さんです。村井さんは、会社を起こしてから、東京に引っ越しましたが、京都に別邸として建てたのがこの長楽館であります。個人所有でありましたが明治政府の迎賓館の役割を担っておりました。現在、この長楽館はもう人手に渡っておりますが、そのまま、当時のままの姿で、洋風建築、そして和風建築の融合体でアメリカ人によって設計されたものであります。ご興味がありましたら、一般の方も泊まれるようにな

っておりますので、ぜひ見ていただきたいと思います、京都長楽館の内装は本当に重厚で、立派なものであります。これは長楽館、現在のオーナーが土手素子さんと申しまして自分のホームページに長楽館の謂れを書いてありまして、現在は、京都市の有形文化財の指定を受けて備品 1 つまで全部文化財になってしまい手が付けられないというお話でございました。

林重助さんは村井の従妹として村井兄弟商会でその後の村井銀行で大番頭をしておりました。タバコ業と製造業への思いが捨てがたく、結果タバコサンライズで金賞を取る事ができたそうです。このサンライズから命名した日の出組と称するタバコの吸口の会社を、東京の巢鴨で起業しました。そこで起こした会社で高橋次雄さんと知り合うわけです。

当時のタバコは両切りでございまして、フィルターはございません。そこで、タバコ屋さん行くと必ずセットでくれるのが紙製の吸口でありました。その吸口を、この日の出組で重助さんは作っておられました。もちろん、吸口だけではなくパッケージも制作しました。紙を漉いて、パッケージを作って、当時、専売公社と言いましたけども、専売制になった専売公社に顔がありますから、技術指導も兼ねて顔出しながら仕事をもらってくるということでありました。日本紙工株式会社は資本金 5 万円で 1920 年（大正 9 年）京都にできました。製紙から紙の加工印刷まで一貫して製造を行って東京、大阪、京都、名古屋、犬山は後からですけど、福岡、台湾に工場を持っておりました。戦後、日本は敗戦国ですから台北工場だけは台湾政府に取られてしまいました。1 円の補償金もございませんでした。

ところが親父から聞いた話ですが、戦後しばらくたってから技術指導に来てほしいということで、弊社の技術の常務と一緒に台北にしょっちゅう行って技術指導をしていたということでもあります。そうすると、お礼に夜、必ずコンコン、コンコンってノックして、女性が現れたということをお父さんは言っておりました。ただ現れただけで、お帰りいただいたそうです。

親父は岐阜大農芸科学科出で原料の調合とか色々やっております、製紙メーカーに勤めておりましたので製紙のことは全部できましたのでよく台湾に指導に行っていたということです。今までは台湾で製紙メーカーとしては第 2 の永豊餘という会社になっております。今でも続いている会社なので非常に嬉しい気持ちでいっぱいあります。

日本紙工の方ですが、専売公社から吸い口の製造委託を受けてパッケージも含めてゴールデンバットの吸口を作っていたということでもあります。とにかく、売れて売れてしょうがない時でありましたが、太平洋戦争が始まってしまい熱田区の沢下、魚錠さんの近くですがここに家もありまして工場もございました。焼夷弾の空襲を受けて非常に危なかったということで従業員を連れて工場も自宅も全部残し、当時、ガス、電気、水道があった犬山市に疎開して来たそうです。ここしかないということで、犬山の方にお世話になりました。お世話になった方は、もと県会議員の林銑二さんのお

父さん、そして近江屋の堀尾さんにも当時は大変お世話になりました。元々のあの辺りのルーツは近江商人でございまして、うちも近江商人の家系でございまして、そういったことから大変力を尽くしていただいたということでもあります。

その後、高橋次雄さんは日本紙工の林重助さんの長女の旦那と喧嘩するわけですね、あまり仲が良くなかった。一緒にうまくやっていけないということで、わしは独立するぞと、高橋次雄さんは、戦後昭和 28 年にこの犬山の地をベースにして独立をいたしました。名前を一字違いの日本紙工業株式会社と現在の名前にした次第でございまして。日本紙工さんとは、親父の代までは仲が悪うございました。日本紙工の方はオフセット印刷と化粧箱、そして、弊社日本紙工業は製紙や紙管ダンボールの製造。ちょうど昭和 38 年からダンボールが世の中に始まりました、当時はリンゴもミカンも木箱でしたが、木箱からダンボール箱にするだけで 10 円安いだけでどんどん売れたわけです。ところが、10 円安くても原価はもっと低いので大変儲かったという話でございまして。現在はその報いで大変薄利多売で私は苦勞をしております。昔の犬山の人は日本紙工さんとうちの会社のことを呼びます。それは、昔は日本紙工だったから日本紙工さんと呼びますが、私は今ではどっちでもいいやということで、実は私の代になってから、日本紙工さんの大口工場というのが近くにありまして、本社は京都にございまして、その社長は京都大学で長く教授をやっており、もう会社は継がないのかなと思ったら、最後は折れて会社を継いでくれました。そんな時に私は訪問させていただいて、なにか一緒に仕事できないの。ということで、それ以来和解をしまして今は仲良く一緒に仕事をしているわけでもあります。

1963 年（私が生まれた年）にいよいよ段ボールの機械を入れまして、犬山の方で段ボールを作り出しました。それから静岡県の袋井市に 3 年後、1966 年に工場を建設しました。3 年でこんなに工場を建てるという事は、ほんとに儲かったのでしょうかね。羨ましいです。そして、1970 年には豊橋に紙管（ペーパーチューブ）の工場を作って、それから 1971 年（私が小学校の 2 年生の時）には犬山のこの地羽黒に本社を移転し工場を設けました。当時は KATOJI さんもなければ何もありません。本当に畑、田んぼだらけで何にもないです。



その後、東京は競争が激しいということで、東京を飛ばして宮城県に工場を新設しました。また袋井工場の隣接地に第 2 工場という特殊な印刷機を入れて特殊

な製品ができる工場を作りました。その後、湖西市に紙管と段ボールの工場を作りました。今のところこの湖西工場が、1番新しい工場になります。静岡県湖西市に工場を作ったそのあと、もう1つ私の代になってから加工場と倉庫を兼ねたものを湖西市の近くにこしらえました。大体、会社の工場はこの拠点をベースに仕事をしております。段ボールはなかなか無くならないと言われて久しいですが、逆に私はいつ無くなくなってもおかしくないという風に覚悟はしております。しかしながら、これに変わるものはなかなか自分でも開発できなくて何かいいアイデアがありましたら教えていただきたいと思っています。

弊社沿革、歴史はこんな感じでございます。林重助の時から数えますと100年を超える企業であります。高橋次雄さんになってからは72年目、今年はいい数字で頑張ろうかなと思っております。

高橋次雄さんは私ども子孫に何も残してくれませんでした。犬山南小学校に銅像がぼつんと立っていますが、あれが私のおじいさんの高橋次雄さんです。なぜ銅像が建ったかという、先々代の時代に体育館とプールを一気に寄贈してしまって、うちの現金は0になりました。現金は一切残っていませんでしたので、親父がえらいことしてくれたと嘆いて。親父は何を相続したかっていうと土地と株だけあります。もちろん私にも何の分け前もありませんでした。親父は現金が無いので相続税を払うにも現金をまた借りなければいけなくて、銀行に大変な思いをして数億の借金をして税金を払うという本当にバカバカしい事をしておりました。私も同じことをしなければならぬと思うと気が重いです。

最後は悲しいお話になりましたけれども、今日は本当に皆様、ようこそ来ていただきました。本当は工場見学もして頂きたかったです。工場を見学されたい方は事務所が新しくなってから綺麗な社長室へお迎えしますので遊びに来て工場見学を申し出ただけだと思います。今日は車の関係で工場見学できなかった事をお詫び申し上げ私の卓話とさせていただきます。

どうぞご清聴ありがとうございました。

＝お礼の言葉（稲垣圭次会長）＝



高橋さん、本当にありがとうございます。

犬山にはなくてはならない長い歴史ある大企業でありますので、今後は犬山RC会員としても犬山商工会議所 会頭としてもご活躍していただくことをお願い申し上げます。

本日はどうもありがとうございました。



ご報告

○『未来問活』みんなはどう生きるか（出前授業）

1月12日（金）扶桑町立扶桑中学校において1年生を対象に「働くとは」（出前授業）開催。

スピーカーとして、稲垣会長、福富副会長、小川誠幹事、大島副幹事、宇佐美さん、梅田さん、鈴木敏之さん、松井さん、千田さん、安田新平委員長の10名に授業を行っていただきました。





○2024-25年度パスト会長会議

1月23日(火) ホテルミュースタイル犬山エクスペリエンスにて、2024-25年度パスト会長会議を開催いたしました。

○大縣神社 牧野名誉宮司・日比野宮司

感謝と祝賀の会

1月29日(月) 名鉄小牧ホテルにおいて、大縣神社 牧野名誉宮司・日比野宮司 感謝と祝賀の会が開催され、稲垣会長が出席いたしました。

○2023-24年度第4回クラブアッセンブリー

1月30日(火) 大安にて第4回クラブアッセンブリーを開催いたしました。

○東尾張分区会長幹事会

2月1日(木) 東尾張分区会長幹事会が、瀬戸 RC ホストのもと、THE CONDER HOUSE (名古屋市)にて開催され、稲垣会長、小川幹事が出席いたしました。

★ハイライトよねやま 286号★2024年1月15日発行

：：今月のトピックス：：

- ・ ベトナムの子どもたちを笑顔に
- ・ 英語版リーフレット 改訂版が完成
- ・ 寄付金速報 — 下期普通寄付のお願い —
- ・ 米山学友が世話クラブの会員に仲間入り！

《今月のピックアップ記事》

米山学友が世話クラブの会員に仲間入り！

米山奨学生がロータリー会員になることは大きな喜びですが、かつて世話をした奨学生が自クラブのメンバーとして仲間入りをするとは、この上ない喜びのひとつ。これまでに292人の米山学友がロータリー会員となり、うち少なくとも8人が世話クラブの会員となっています(事務局把握分)。

パブロ プーガさん(2006-08/東京広尾 RC)のように、今年度クラブ会長を務める人も複数います。そんな中、カウンセラーと交わした「いつか教授になったら入会します」との約束を果たし、2022年から世話クラブ会員となった鄒艶華さん(2002-04/西那須野 RC)からのメッセージを紹介します。

<鄒艶華さんより>

宇都宮大学工学部教授に昇進してすぐにカウンセラーの関谷直人先生に報告し、翌月には入会手続きをしました。自分が学生時代に支援を受けて研究に専念できたので、今度は留学生を支援する立場に立ちたいと考えています。

西那須野 RC は自宅や勤務先からは少し離れていますが、奨学生時代から温かく見守っていただいております。また最近、会員数が減少傾向であることも聞き、少しでも貢献できればと思い入会しました。

その他の記事は、ぜひ PDF 版をご覧ください。

→

<http://www.rotary-yoneyama.or.jp/content/uploads/summary/highlight286.pdf.pdf>

以上